

復興研究会報告

NO.20(平成30年度 第2号)

発行
岩手県立大槌高等学校
復興研究会・O A部
発行日
平成30年8月29日

復興研究会キッズステーション ボランティア活動参加

例年のない猛暑の夏休み中、キッズステーション班のメンバーは各場所で子どもたちとのふれあい活動に参加しました。

活動に参加した皆さんの声を紹介します。



私は普段、下に弟や妹がいないので小さい子ども達と遊んだり話すことは少ないのははじめはどのように接したら良いのか分からなかったのですが、話してみるととても元気に話してくれたり子ども達の方から話しかけてくれ、とても嬉しくて楽しかった。貴重な体験をした。
(2年女子)

町内の子ども達と触れあえるのでとても良い活動だと思った。参加したくさんの学びがあり良い経験が出来たと思う。今後も積極的に参加したい。(1年女子)

初めてキッズステーションの活動に参加しました。子どもと接する機会が今まであまりなく、活動に不安があった。しかし、スクールの方に手助けをいただき無事に活動を終わることができた。子ども達が私によってきて遊んでくれとても楽しかった。(2年女子)



滋賀県八日市南高校生交流会

静岡県高校生交流会

7月31日と8月7日本校を会場として滋賀県八日市南高校の生徒と静岡県の高校生の方々との交流会が行われました。参加した皆さんの声をご紹介します。



今回の交流で大槌を伝えることが出来た。震災で困った事や避難訓練のこと静岡で災害が起きた時の備えとして必要なことをたくさん教えることが出来た。静岡と大槌では地形の違いがあって防災の対策が違っていることも知った。どこの地域にいても自分の命を守ることが大切だと言うことを改めて感じた。(2年女子)

自分の意見を明確に話すことが出来た。また、班の皆さんと交流をし楽しく話すことが出来た。(2年男子)

八日市南高校との交流会をしました。暑い中遠くから来てくださり、本当にありがたいと思った。意見交換の時に八日市南高校の皆さんと話が出来て嬉しかった。(1年女子)



初めての他校交流でとても緊張したが、復興研究会の発表で、大槌を発信できた。八日市南高校についてもすることが出来た。八日市南高校は農業、食品、緑花デザイン科があり、お茶を栽培したり牛の飼育をしたり、ニワトリの解剖をしたりと専門性がある学校だと言うことが分かった。これからも他校交流をがんばりたい。(2年女子)

